事業シート（令和9年度予算）

事業名	71100　道路河川等整備推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
					項	1	土木管理費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	Ⅲまちを整える 暮らしを守る、暮らしを便利にする基盤を整備します
担当課	建設部　建設課	内線	2321		目	1	土木管理費			施策分野	(4)	道路・河川		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・国、県道の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 ・河川の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図る。	概要	・同盟会等を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた要望や提言活動を実施

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		3,591	3,404	3,515			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源		3,591	3,404	3,515			
新規・拡充	主な事業内容						
	各種同盟会への負担金	2,971	2,894	2,895			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	実施計画額 3,600 増減 (d)-(c)
3,570			55
3,570			55

要求額	説明
2,950	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・道路等社会基盤の整備促進に向け、国、県等へ28回（7月～12月）要望書を提出し、事業促進を提言した。	
評価等	・飛騨地域3市1村の首長による効果的な要望活動を行うとともに、同盟会負担金の低減を図った。	
次年度以降の考え方（担当課）	・社会基盤の早期整備に向け、関係機関と連携した要望や提言活動の実施に努める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・国等の道路及び河川等の整備促進に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	72300 ～ 72370	道路新設改良事業費		予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	橋りょう長寿命化修繕計画、過疎地域持続的発展計画
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
担当課	建設部 建設課	内線	2328		項	2	道路橋りょう費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	Ⅲまちを整える 暮らしを守る、暮らしを便利にする基盤を整備します
					目	3	道路新設改良費			施策分野	(4)	道路・河川		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市道の安全性と信頼性を高めるとともに、機能的な地域内道路網を確保し、道路利用者の利便性と快適性の向上を図る。	概要	・道路の新設、拡幅改良、歩道設置 ・橋りょうの架け替え、耐震補強、長寿命化修繕 ・道路用地の取得

総合計画等 主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
耐震、長寿命化対策実施橋りょう数（累計）	127橋		150橋
「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	61.5%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		290,030	202,172	451,020			
特定財源	国費（ 道路整備事業費 5.5/10、5/10 ）	149,750	86,334	231,900			
	県費（ ）						
	その他（ 公共施設整備基金繰入金、地方債 ）	110,000	80,000	125,600			
一般財源		30,280	35,838	93,520			
新規・拡充	主な事業内容						
	道路改良・道路舗装・側溝改良	29,136	29,135	99,500			
	橋りょう長寿命化改良	110,000	22,850	173,200			
	旅行村線	149,364	148,986	176,700			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 1,065,300 増減 (d)-(c)
454,780			3,760
236,430			4,530
56,500			△ 69,100
161,850			68,330

要求額	説明
58,690	新宮前原線 ほか
213,000	赤桶橋 ほか
181,500	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check） R8.8実施

事業実績	・橋りょう長寿命化修繕計画（Ⅱ期）に基づき、長寿命化修繕及び耐震対策工事を実施した。 不動橋 ・道路新設工事を実施した。 旅行村線 ・道路改良工事を実施した。 名張上切線 ・測量業務、詳細設計業務を実施した。 ・道路整備に必要な用地取得を実施した。	
評価等	・新たな事業については事前評価を行い、投資効果や整備手法などを十分検討したうえで実施する必要がある。 ・コスト縮減にあたっては、初期整備に係る経費だけでなく、整備後の維持管理や将来的な更新なども含めた総合的な視点をもって取り組む必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・将来の費用を軽減する橋りょうの老朽化対策を計画的に推進する。 ・地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト縮減を図りながら、計画的な事業推進（重要度の高い施設の優先的整備）を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check） R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・橋りょうの長寿命化、道路の整備推進に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	72390　県営土木事業負担金			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
					項	2	道路橋りょう費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	Ⅲまちを整える 暮らしを守る、暮らしを便利にする基盤を整備します
担当課	建設部　建設課	内線	2321		目	3	道路新設改良費			施策分野	(4)	道路・河川		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・国、県道の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 ・急傾斜地等の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図る。	概要	・市内において、県が実施する事業への受益者負担の支出

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		75,000	50,506	78,000			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源		75,000	50,506	78,000			

新規・拡充	主な事業内容						
	県営土木事業負担金	75,000	50,506	78,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	実施計画額 市長査定額	70,000 増減 (d)-(c)
78,000			0
78,000			0

要求額	説明
78,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・県営土木事業負担金 高山土木事務所管内 一般国道156号（荘川町地内）、一般国道361号（高根町地内）、都市計画道路花里本母線（花里町地内）、都市計画道路松之木下林線（桐生町地内）、急傾斜地崩壊対策事業（三福寺町・中切町・上岡本町・八幡町・久々野地内）他 古川土木事務所管内 主要地方道国府見座線（国府町・上宝町地内）、一般県道古川宇津江四十八滝国府線（国府町）、一般県道谷高山線（国府町）、急傾斜地崩壊対策事業（上宝町地内）他	
評価等	・事業進捗については、県の予算配分等に左右されるため、管内の予算確保に向けた取組みを進める必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・地域の生活環境の向上に必要な施設等社会基盤の早期完成に向け、県へ要望するとともに事業の調整を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	74300 ～ 74313　街路整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
					項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	Ⅲまちを整える 暮らしを守る、暮らしを便利にする基盤を整備します
担当課	建設部　建設課	内線	2328		目	2	街路事業費			施策分野	(4)	道路・河川		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・高山駅周辺及び内環状線を構成する都市計画道路において、歩車道分離による歩行者の安全確保と車道部の2車線化による快適な通行の確保を図る。 ・無電柱化事業により、駅周辺の良好な景観形成と大規模災害時の電柱等の倒壊による道路の寸断を防止する。	概要	・道路の新設 都市計画道路　松之木千島線 ・道路の拡幅改良、歩道設置 都市計画道路　西之一色花岡線

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
都市計画道路（市道部分）の整備率	57%		ー
「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	61.5%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		2,246,232	1,137,639	3,760,130			
特定財源	国費（　街路整備事業費　5/10　）	1,098,638	514,447	1,878,200			
	県費（　）						
	その他（　都市計画税、公共施設整備基金繰入金 、都市計画事業基金繰入金　）	945,922	510,349	1,763,100			
一般財源		201,672	112,843	118,830			
新規・拡充	主な事業内容						
	都市計画道路松之木千島線（松之木～江名子間）	2,136,920	1,040,340	2,975,850			
	都市計画道路松之木千島線（県道～国道41号間）	53,000	51,135	267,050			
	都市計画道路西之一色花岡線	55,652	45,627	516,500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 3,125,000 増減 (d)-(c)
3,498,518			△ 261,612
1,745,340			△ 132,860
539,420			△ 1,223,680
1,213,758			1,094,928

要求額	説明
3,115,748	
15,340	
366,710	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・都市計画道路松之木千島線 （千島工区） 踏切歩道設置工事委託を実施した。 （松之木～江名子工区） トンネル新設工事、道路新設工事、残土受入地整備工事を実施した。 トンネル積算（出来形）業務、水文調査業務、用地測量業務、補償調査業務を実施した。 道路整備に必要な用地取得、物件移転補償を実施した。 ・都市計画道路西之一色花岡線 用地測量業務、補償調査業務を実施した。	
評価等	・財源確保に向けて国・県等へ積極的に要望を行い、計画的な事業推進に努める必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・地元や関係機関との調整を図り、早期整備に向け、計画的な事業進捗を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・都市計画道路の整備に必要な経費を計上

財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	74400　中部縦貫自動車道等推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
担当課	建設部　建設課	内線	2321		項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	Ⅲまちを整える 暮らしを守る、暮らしを便利にする基盤を整備します
					目	3	中部縦貫自動車道等推進費			施策分野	(4)	道路・河川		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・中部、関東、北陸圏域への人、物の移動を円滑にし、快適で利便性の高い暮らしや産業の活性化等を図る。	概要	・同盟会等を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた要望や提言活動を実施 ・長野県の関係自治体と連携し、建設促進に向けた要望や提言活動を実施 ・民間推進団体の建設促進に向けた要望活動や市民への啓発活動に対し、補助金を交付 ・事業箇所の住民説明会の開催及び国、県と事業関係者との事業調整など事業促進に向けた協力

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		57,070	50,200	451,440			
特定財源	国費（　交通安全対策補助5.5/10　）	8,000	5,507				
	県費（　　）						
	その他（　飛騨高山ふるさと基金繰入金、公共施設整備基金繰入金　）	20,000	20,000	150,000			
一般財源		29,070	24,693	301,440			
新規・拡充	主な事業内容						
	中部縦貫自動車道（高山～平湯間）の整備促進	57,070	50,200	443,840			
	石浦バイパス（宮高山バイパス）の整備促進			7,600			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 増減 (d)-(c)
			204,800
65,340			△ 386,100
16,885			16,885
			△ 150,000
48,455			△ 252,985

要求額	説明
54,340	
11,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・中部縦貫自動車道及び国、県道の事業促進に向けた要望活動を地元団体と共に実施した。 ・中部縦貫自動車道（平湯～久手）の事業を進めるための用地境界測量を実施した。 ・中部縦貫自動車道（高山IC～丹生川IC）中間インターチェンジ周辺の地域活性化調査を実施した。 ・事業主体である国、県が開催する地域住民への説明会へ参加、協力した。	
評価等	・関係団体との活動内容の統合等による事務費の節減等について検討を行う必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・整備促進に向け、関係機関と連携した要望や提言活動を今後も継続して実施する。 ・事業主体と協力した住民説明会の開催や事業調整、用地取得に向けた協力など、事業の促進を図る。 ・関係団体との活動内容の統合を行い、事務費の節減を図る。 ・中間インターチェンジの整備及び周辺地域の地域活性化を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・中部縦貫自動車道等の事業促進に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	